

DNA 断片化指数検査 (DFI 検査)

一般精液検査（精液量、精子濃度、精子運動率、正常形態精子率 など）は、男性不妊の治療方針を考える上で重要ですが、この検査のみでは精子機能を十分に反映できていない可能性が指摘されています。

例えば、通常の精液検査で異常がない方（WHO の基準値以内の精液検査結果）でも、精子が DNA の損傷を受けている割合（断片化率）が高い患者さんでは、受精率や妊娠率が低くなったり、流産率が高くなったりすると言われていています。そこで、当クリニックでは高度精子機能検査の 1 つである、精子 DNA 断片化指数（断片化率）の測定を開始しました。

精子 DNA 断片化指数(DFI: DNA fragmentation Index)とは？

精子が酸化ストレスなどのダメージを受けること、精子の DNA が損傷することがあります。この損傷した DNA を持つ精子の割合を DNA 断片化指数 (DFI:DNA fragmentation index) と言います。この検査では、どの程度の割合で精子の DNA が損傷しているのかを調べます。

なぜ DFI 検査をするのか？

DFI 検査で、あなたの隠れた不妊の原因を特定できる可能性があります。

DFI 検査は、DNA 損傷の改善を目的とした「生活習慣改善の必要性」、「精索静脈瘤手術の必要性」、また「ART（生殖補助技術）治療へ step up のための判断」等、今後の治療方針を立てるための目安となります。

費用は？

測定費用・検体輸送費用、結果解析費用込みで 1 回 15,000 円（消費税別）

